

小学校統合プラン説明会会議録

と き 平成23年7月13日午後7時30分～午後9時

ところ 上郷地区公民館

出席者 地区民男性9人、女性1人 計10名

石前委員長・高塚委員・進委員・前畑委員・永田教育長・生田課長・藤村課長
浅田補佐・谷本補佐・高力係長

開会 生田課長

あいさつ 石前委員長

統合プラン説明 永田教育長

資料により説明させていただき、皆様とともにこの問題を考えていきたいと思う。

別紙資料により説明。

財政推計について生田課長説明

質問・意見交換

○ この会は最初安田地区で行われたと思うが、どんな意見が出ていたか。議会のほうへ報告されて、それについての議会での状況はどうか。

● 全体的に受けた印象では、賛成、反対という明確な意見はなかったように思う。

議会報告をしたがプランについて、特段発言はなかった。また今までの議会の一般質問でもしっかり説明していけということや学校のあり方等、今日の説明のようなことを一貫して説明している。

○ 先日東伯小学校、勤保育園の保護者が集まってこの問題の勉強会をした。その時の意見としては、26年度の統合はやむをえないという意見がほとんどだった。

中学校区に1校にするということについては、慎重にするというのが大半の意見で、それは、1校になれば500人以上の規模となり、それは余り大きくなり過のではないかということだった。また一方の意見として保育園がすでに統合されていて、勤保育園を卒園した児童が古布庄小学校に通い、また東伯小学校に統合になるというのは子供にとってどうかというような意見もあった。保育園の統合の進め方に不信感もあるようで、そのあたりは反省されることもあると思う。

● いまの意見では、1校にするのは慎重にと言うことでした。PTAがアンケートを取っていて、この中には、統合を2回するなら1回でいいのではというような意見もあった。教育委員会では、答申の32年統合ということは今考えず、将来更なる児童数が減少することが見込まれるときに、中学校、小学校ともに検討することが必要でないかということでこのプランを提案した。

○ 話を聞いていると、なるほどと思うことばかりでした。26年度に統合というプラン

で準備していくということだが、今ある学校施設で統合しても人数的にどうか。

● 東伯小学校に古布庄小学校の児童が来ても大丈夫である。成美小学校も建築時の児童数と同じくらいで、今の学級編成基準では施設的には入る。

○ 財政的には統合したほうが効率的になるのか。

● 財政的にはそんなに大きな違いはないと思う。支出は少なくなるが、交付税の算定で収入は少なくなると思う。

○ 公民館も現在 9 地区ある、今の学校の統合でどうなるか、統合してくださいということでもないが、この問題も遡上に上げて、検討してもらう時期なのかと思っている。

○ 話を聞いていると 26 年統合は仕方ないのかと思うが、人が少なくなるという推計ばかりで、人を増やすような対策はないのか。

● この資料は「県内の他市町村学校統合の状況を一覧表で説明」。その理由のほとんどが少子化の問題です。これは全県、全国的な問題で町でも、婚活や企業誘致等行っているが、なかなか成果が上がらない。ただその中、赤碕高校跡地に県立高等特別支援学校が 25 年度開校する。3 年後には教職員を入れ 200 名くらいの交流人口が増える。このように空き施設の利用ができる取り組みや、新規参入は容易でないので既存企業に活力があるような取り組みをしている。

○ 朝は決まった時間に路線バスで通っているが、帰りは授業の関係でまちまちで、特に早い時には、迎えにいつているような状況もある。路線バスとスクールバスをうまく組み合わせできないか。

● 路線バスも有効活用しなくてはいけないという立場もあるので、それは検討課題の中に入れていかないといけないと思う。

司会 他に質問等がありますか。ないようでしたら、本日はこれで終わります。今日は貴重な皆様のご意見をいただき有難うございました。今後も意見、気づかれたこと等ありましたら、教育委員会に声をかけてもらえば、また説明に出かけさせていただきます。

午後 8 時 40 分閉会